



徳山直子さん

三重県乳腺患者友の会「すずらの会」会長、よっかいちキャンサーリボン実行委員長として、がん検診の普及啓発やがん患者などに寄り添い支え合う活動に取り組む徳山さんにお話を伺いました。

■どん底も経験したこれまでの人生

「徳山さんは、病気を克服し仕事もうまくいって幸せそうでいいね」と人から言われることがありますが、そうでもないんですよ。

37歳で乳がんの手術を受けた後、家族のことや、家業のことなど、大変なことが何年も続きました。

術後10年が経ったころリンパ療法の技術に出会い、現在は自宅でサロンを運営しています。乳がん体験を生かし、過労や術後の回復・体調管理・QOL(生活の質)の向上をお手伝いしています。また自分の技術が在宅医療などで活用できるように講習なども行っています。

世の中で活躍している人や、きらりと輝いている人が取り上げられるときに、いま輝き充実している姿が目

Vol.72



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：2月1日～28日

月水金日 9:30、20:30

火木土 12:30、20:30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

日時：2月10日、24日

8:54、14:54

されると思います。私は私自身が「どん底」だったと思うような暗い時代、暗い気持ちにもスポットを当てて、助けられながら生き抜いてきた話も聞いてもらいたいですね。

■三重県乳腺患者友の会「すずらの会」

乳がんの術後に、自身の心の苦しみを主治医に話し、親身に聞いていただきましたが、「がん患者の心の苦しみを、同じ経験をしたもの同士で励まし合える場所が欲しい」と思うようになりました。

主治医からも「穏やかなおとなしい地域柄か、三重県には自ら患者会を立ち上げようとする人は少ない」という話を聞き、「ないなら作ってしまおう」と患者会「すずらの会」を1994年に設立しました。

そのほかにも、「よっかいちキャンサーリボン実行委員会」などにも参加し、講演会や街中などでのイベントで、がん検診の大切さと呼び掛ける活動もしています。



よっかいちキャンサーリボンロゴマーク

■人生は授かりもの

私は、人生のすべては授かりものだと考えています。幸せだったことはもちろん、病気になったことや苦労したこともすべて自分が授かったものです。これからは、自分の病気や生活を助けてもらったり、お世話になったりした人たちに恩返しをしていきたいと考えています。

そして、今の私には「学び続けたいシニア世代の塾を作ること」「次の世代の人たちを応援すること」など、たくさんの夢があります。そのたくさんの夢を育みながら、多くの人との出会いを大切に生きていきたいですね。

有料広告掲載欄

入ってよかった 建労 四日市支部

随時加入者募集中

働きながら学ぶ夜間講習

2級建築士 受験準備講座
受講生募集

2級建築士試験の受験者を対象にした準備講座です。ベテランの講師陣による懇切にねいな指導で、学科と設計・製図の講習をおこない、建築に関する知識のない方にもわかりやすく解説します。女性の受講生も年々増え、建築分野への進出がめざましいものがあります。

三重県建設労働組合四日市支部
四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

随時受付中
3月20日メ切

木造建築科

訓練生募集

訓練校こそ

技能取得への近道。

仲間づくりの広場。

三

三重県認定 四日市建設高等職業訓練校

職業訓練法人 **四日市建設職業訓練協会**

四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。